



なりわい 第4回暮らし・生業再建本部会議

日時：令和2年4月14日（火）

10時00分～10時30分

場所：長野県庁3階特別会議室

1 復旧・復興に向けた取組の状況・課題、今後の対応について

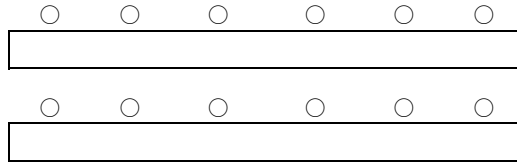
2 その他

第4回 暮らし・生業再建本部会議 席図

日時 令和2年4月14日(火)

場所 県庁3階特別会議室

出入口

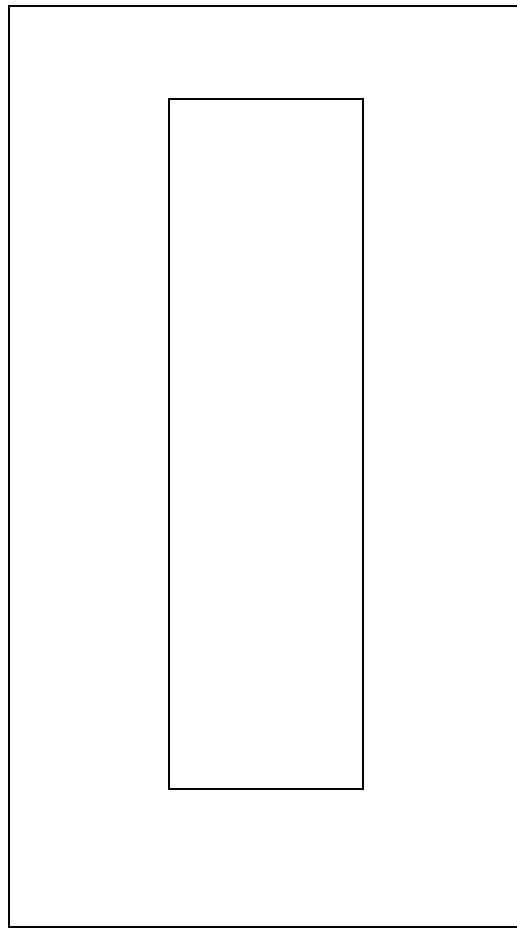


建設部長 ○
農政部長 ○
産業労働部長 ○
健康福祉部長 ○

○ 観光部長
○ 県民文化部長
○ 危機管理部長
○ 企画振興部長

出入口

○
本部長
(知事)



復旧・復興に向けた取組の重点項目

R2. 4. 14 暮らし・生業再建本部

- 取組を進めるに当たっては、市町村と課題を共有し十分に連携を図るとともに、以下の事項について、進捗状況を暮らし・生業再建本部会議等で共有。

【暮らしの支援】

1. 災害による健康障害（災害関連死）防止対策
（被災者の健康維持・見守り活動への支援）
2. 医療機関・福祉施設等の復旧支援
（被災施設から別の施設への避難者の受入調整）
3. 生活再建のための資金の配分
（義援金、見舞金、被災者生活再建支援金）

【住まいの再建の円滑化】

4. 住宅再建の促進
（「住まいの再建に向けたアンケート」（長野市）など）
5. 住まいの総合相談の実施
（従来の建築の専門家に加え、法務・税務等の専門家による相談）

【産業再建への支援】

6. 営農再開に向けた支援
（営農再開が困難な圃場へのサポート、農地の再編支援）
7. グループ補助金等による事業再開支援
（県庁に加えて地域窓口で相談・申請対応）
8. 観光需要の喚起
（「がんばろう信州！観光キャンペーン」など）

【インフラの復旧】

9. インフラの復旧

(市町村事業を含めた工事調整、出水期までに整備が終わらない箇所への対応、進捗状況の発信)

10. 執行体制の確保

(膨大な発注業務に対応するための人員確保)

【市町村への支援、支援体制の確保】

11. 市町村の人的・財政的サポート

(中長期的派遣、技術職の人的支援など)

12. ボランティア、NPO等との連携の継続・強化

(活動支援、被災者ニーズとのマッチング)

人的被害・住家被害の状況

(令和 2 年 4 月 8 日現在)

1 人的被害 ※内訳は別紙のとおり

・ 死者	6 名	(+1)
<u>うち災害関連死</u>	<u>1</u> 名	(+1)
・ 行方不明者	0 名	(±0)
・ 重傷者	14 名	(±0)
・ 軽傷者	136 名	(±0)

【死者数内訳】

市町村名	数
長野市	2
飯山市	1
佐久市	2
東御市	1

2 住家被害 ※3月23日から変更なし

・ 全壊	920 棟 (±0)	1,083 世帯 (±0)
・ 半壊	2,505 棟 (±0)	2,768 世帯 (±0)
・ 一部損壊	3,479 棟 (±0)	3,614 世帯 (±0)
・ 床上浸水	5 棟 (±0)	10 世帯 (±0)
・ 床下浸水	1,407 棟 (±0)	1,696 世帯 (±0)

○人的被害の状況

令和2年4月8日現在

(人)

市町村名	死亡		行方不明	重傷			軽傷		
		うち 災害 関連死			直接	関連		直接	関連
長野市	2		0	8	3	5	92	17	75
上田市	0		0	1		1	5	1	4
須坂市	0		0	0			7		7
中野市	0		0	1		1	0		0
飯山市	1	1	0	1	1		4		4
佐久市	2		0	0			18	18	
千曲市	0		0	0			5		5
東御市	1		0	0			1	1	
川上村	0		0	1		1	0		
佐久穂町	0		0	0			2	1	1
軽井沢町	0		0	0			1	1	
箕輪町	0		0	0			1		1
坂城町	0		0	2	2		0	0	
合計	6	1	0	14	6	8	136	39	97

※重傷及び軽傷の「関連」は、当該災害による避難生活中の負傷等で医師の治療を受け、又は受ける必要のある者のうち、重傷者は1月以上の治療を要する見込みのもの、軽傷者は1月未満で治療できる見込みのもの。

令和元年東日本台風（台風 19 号）災害に係る 健康障害の防止に向けた取組

1 生活支援・地域ささえあいセンターによる見守り・相談支援

被災者の孤立防止等のための見守り、日常生活上の相談等の支援を行う生活支援・地域ささえあいセンターが 4 市町において設置。

県では市町村センター等の活動支援を行うため、「長野県生活支援・地域ささえあいセンター」を設置。

設置状況

○県生活支援・地域ささえあいセンター

令和元年 12 月 18 日設置、統括生活支援相談員 2 名

○市町村生活支援・地域ささえあいセンター

市町村名	設置日	生活支援相談員数	対象世帯数
長野市	令和元年 12 月 19 日	15 名	約 800 世帯
飯山市	令和 2 年 1 月 6 日	5 名	約 170 世帯
佐久穂町	令和 2 年 1 月 17 日	2 名	約 140 世帯
中野市	令和 2 年 2 月 3 日	2 名	約 90 世帯

活動状況

- 市町村センターでは、応急仮設住宅やみなし仮設住宅等の戸別訪問等を行い、
 - ・健康状態の相談を受けての医療機関受診の同行支援
 - ・話し相手がいないなど孤立が心配される被災者のためのサロン開催の支援
 - ・行政による対応が必要な相談の行政窓口等へのつなぎ、申請の際の同行支援
 - ・住宅再建や転居先に関する相談やごみ処分の問い合わせ対応 等を実施。
- 県センターでは、市町村の生活支援・地域ささえあいセンターの活動ノウハウ不足をサポートするため、先行事例に関わった県外の講師を招いた研修会の開催や、被災者支援専門の NPO 法人等のアドバイザーの派遣、被災者訪問への同行を伴った助言等の支援を実施。
- 市町村センターでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しつつ、電話相談等も行いながら孤立予防のための取組を継続しており、引き続き、未訪問世帯への訪問活動を進めることとしている。県センターにおいても、被災世帯への支援内容を検討する市町村の会議等に参加しての助言等、状況に応じた支援を進める。

2 健康障害の防止に係る研究会の開催

発災から4か月を迎えるにあたり、避難生活の長期化に伴う避難者の健康障害やいわゆる「災害関連死」の発生が懸念されるため、県や市町村、社協の取組状況について情報共有するとともに、有識者からの助言を得て取組に活かしていくため、研究会を開催。

概要

- (1) 開催日 令和2年2月7日
- (2) 出席者 被災市町村職員（8市町）
社会福祉協議会職員（4市）
県関係者 34名
- (3) 内容



第1部 講演

テーマ 「北海道胆振東部地震における保健活動の経験～中長期的な活動を中心に～」

講師 北海道立病院局病院経営課人材確保対策室長兼医療参事

石井 安彦 氏

(前 北海道苫小牧保健所長：平成30年北海道胆振東部地震において、被災現地の保健所長として最前線で保健・見守り活動にあたる。)

第2部 意見交換

講師からのアドバイス、主な意見等

- ・中長期的な観点で、必要人員の確保、外部資源の活用などを検討し、支援にあたる職員の健康管理をすることが重要。
- ・専門職員は限られており、長期の支援にあたるうえでは、専門職が当たるべき業務を整理することが必要。
- ・保健活動は先が長いことから、活動の持続可能性を常に意識すること（短距離走からマラソンへのペース変更を。）
- ・情報共有にあたって、関係者の負担とならない方法を検討しながら、関係者間のコミュニケーションを図ることが必要。
- ・仮設住宅等に設置された集いの場などには、男性の参加が少ない傾向があるので男性の参加を促すことも大切。

3 被災者のための「こころ・法律・仕事」の相談会の開催

被災者のための総合的な相談会を下記のとおり、県下4地区で開催。令和2年度も被災市町村の意向等を確認のうえ、相談会を開催予定。

今年度の開催概要

(1) 日時・場所

- 東信地区 (令和元年12月7日 佐久穂町生涯学習館「花の里・茂来館」)
- 北信地区 (令和元年12月15日 飯山市保健センター)
- 長野北部地区 (令和2年1月25日 須坂市日野地域公民館)
- 長野南部地区 (令和2年1月26日 犀南保健センター)

(2) 相談者数及び相談件数

相談者19人、相談件数28件

(3) 相談対応者

精神科医、弁護士、まいさぼ相談支援員、保健師等

(4) 主な相談内容

- ・ 被災した自宅の再建費用の借入の手続きをどうしたらよいか。
- ・ 生活再建や住宅修繕のためにどのような制度が活用できるか。
- ・ 被災した賃借物件の修繕費用を賃借人から請求されているがどうすればよいか。
- ・ 被災により発覚した住宅の欠陥を施工業者に修繕してもらえるか。
- ・ 被災後の環境変化で不眠等の症状があるが、受診すべきか。
- ・ 電気料金など公共料金の免除を受けられるか。

医療機関・社会福祉施設等の復旧支援について

健康福祉部
県民文化部

I 医療施設（県有施設を除く）

（1）被害及び復旧の状況

被害状況	復旧状況				
	完了	復旧見込み			
		6 月 まで	9 月 まで	12 月 まで	12 月 以降
病院、診療所、歯科診療所 計 17 施設 ○床上浸水 11 施設 ○床下浸水等 6 施設	14	-	1	-	-

※一部再開 1 か所（8 月頃全面復旧予定）
※廃業 1 か所

（2）再開に向けた支援の状況

国へ補助金の要望・申請等を実施

II 社会福祉施設

1 高齢者施設

（1）被害及び復旧の状況

被害状況	復旧状況				
	完了	復旧見込み			
		6 月 まで	9 月 まで	12 月 まで	12 月 以降
計 33 施設 ※軽微な損壊除く ○床上浸水 28 施設（うち利用者向け施設 21） ○床下浸水 5 施設	21	5	3	3	1

※ 現地で再開していない 1 施設については、他の施設で介護保険サービスを実施中。
※ 3 施設の利用者 31 名が、他の介護施設や病院へ避難中。

（2）再開に向けた支援の状況

施設の復旧については、国へ補助金の協議を実施済。施設の設備・備品については、県から被災施設に対し交付決定を行った。

2 障がい者施設

（1）被害及び復旧の状況

被害状況	復旧状況				
	完了	復旧見込み			
		6 月 まで	9 月 まで	12 月 まで	12 月 以降
グループホーム、通所施設 計 13 施設 ○床上浸水 8 施設 ○床下浸水 5 施設	10	2	1	-	-

※ 未復旧の 3 通所施設は、別の場所でサービスを提供している。

（2）再開に向けた支援の状況

施設の設備・備品について、県から被災施設に対し補助金の交付決定を行った。

3 児童福祉施設

(1) 被害及び復旧の状況

被害状況	復旧状況		
	完了	復旧見込み	
		R 2 年度中	R 3 年度以降
保育所 計 5 施設 ※軽微な損壊除く ○床上浸水 4 施設 ○床下浸水 1 施設	長野 1	千曲 1 (10 月) 飯山 1 (プール) (6 月)	長野 1 (検討中) 千曲 1 (R4. 4 月)
子育て支援センター、放課後児童クラブ 計 4 施設 ※軽微な損壊除く ○床上浸水 4 施設	須坂 1	長野 1 (8 月) 千曲 1 (6 月)	長野 1 (検討中)

※復旧が完了していない保育所は、仮設園舎又は他の施設で保育を実施。子育て支援センター及び放課後児童クラブは他の施設で実施

(2) 再開に向けた支援の状況

保育環境等についての相談を実施。施設の復旧については、国へ補助金の協議を実施済。施設の設備・備品については、県から被災施設に対し交付決定を行った。

Ⅲ 県有施設

1 総合リハビリテーションセンター

被害状況	復旧状況・復旧見込み
病棟、施設棟等の 1 階が床上浸水し、受変電設備、ボイラー、機械設備、多数の医療機器等が浸水により故障	○一部業務を再開 <ul style="list-style-type: none"> ・更生相談室の業務を再開（身障手帳の発行、補装具判定等） ・義肢装具所の業務を再開（当面の間、既に受注したもののみ対応） ・外来診療を再開（当面の間、再来患者のみ対応） ・施設部門の入所者等の受入を順次再開（当面は他医療機関に避難していた方のみ） ・病棟での患者の受入を一部再開（令和 2 年 3 月 30 日から） ○施設の復旧状況（令和元年度 11 月補正予算） <ul style="list-style-type: none"> ・病棟・施設棟等の内装工事が完了 ・医療機器を納入済み ・発電機設備等の復旧作業中

※他病院に転院した入院患者、入所者については、医師・看護師等が患者等の状況を確認し、患者の状況とニーズに沿った対応を実施している。

2 障がい者福祉センター（サンアップル）

<p>被害状況</p>	<p>復旧状況・復旧見込み</p>
<p>屋外施設（陸上競技場・テニスコート等）が浸水、屋内施設（体育館、ホール等）は1階が床上浸水し、機械設備や備品の一部が浸水により故障</p>	<p>○一部業務を再開</p> <ul style="list-style-type: none">・北信地域の出張スポーツ教室「サンスポーツながの」を再開・1月11日にトレーニング室、卓球室、遊戯室、会議室、宿泊室、アーチェリー場、陸上競技場を再開 <p>※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため全館の利用を休止中。</p> <p>○施設の復旧状況（令和元年度11月補正予算）</p> <ul style="list-style-type: none">・エレベーター等の機械設備の修繕が完了・公用車を納入済み・吊天井改修工事で休館していた体育館・ホール・プールは、浸水被害により工期延長及び復旧作業中のため、令和2年6月～8月に順次再開予定

生活再建のための資金の配分について

危機管理防災課

1 支援金の支給

被災者生活再建支援法を適用するとともに、法制度の対象とならない被災世帯に対して、信州被災者生活再建支援制度により市町村と一体となって支援を実施

(令和2年3月13日現在)

区分	主体	支給対象の被害程度	支給額	対象世帯数	申請件数 a	支給件数 b	支給率 b/a
被災者生活再建支援制度	国	全壊・大規模半壊	50万円 ～300万円	1,542世帯	1,377件	1,252件	90.9%
信州被災者生活再建支援制度	県 市町村	半壊	50万円	2,310世帯	2,007件	1,955件	97.4%
合計				3,852世帯	3,384件	3,207件	94.8%

2 災害見舞金の支給

国の被災者生活再建支援法及び信州被災者生活再建支援制度の対象とならない被災世帯に対し、市町村と一体となって支援を実施

(令和2年3月13日現在)

区分	主体	支給対象の被害程度	支給額	対象世帯数	申請件数 a	支給件数 b	支給率 b/a
災害見舞金	県 市町村	半壊未満の床上浸水	10万円	272世帯	259件	252件	97.3%

3 義援金の配分

- (1) 受付額 2,543,738,471円 (令和2年3月25日現在)
 (2) 配分額 2,138,157,000円 (令和2年2月14日現在)
 (3) 市町村への配分日 第1回配分：令和元年12月13日
 第2回配分：令和2年2月14日
 (4) 被害区分当たりの配分額 (第2回配分までの累積)

死亡	重症	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊・ 床上浸水
825,000円	412,000円	825,000円	619,000円	412,000円	82,000円

- (5) 募集期間 令和3年3月31日まで1年間延長

【報告事項】建設部・危機管理部

令和2年4月6日 17:00時点

当面の住宅の確保及び応急修理の状況について

1 公営住宅・応急仮設住宅への入居及び応急修理の状況について

(単位：戸)

区分	入居決定戸数				計	応急修理		
	公営住宅（職員住宅等を含む）		応急仮設住宅			申込	依頼	完了
	県営住宅等※1	市町村営住宅等	借上型※2	建設型※3				
長野市 (建設型供給可能数)	69	70	593	83 (32)	815	1,202	1,047	690
松本市								
上田市	2		1		3	8	7	6
岡谷市								
須坂市	1	15	24		40	93	82	59
小諸市								
中野市	5	6	2		13	60	58	40
飯山市	10	8	6		24	131	106	77
佐久市		25	1		26	88	80	74
千曲市	5	1	10		16	199	157	117
東御市		6			6	1	1	1
北相木村		2			2	2	2	2
佐久穂町		8	8		16	21	21	21
軽井沢町						1	1	
御代田町								
青木村								
辰野町						1	1	1
箕輪町								
飯島町								
坂城町						2	2	2
小布施町		4	3		7	28	26	18
信濃町						2	2	2
飯綱町						1	1	1
小川村								
栄村						1	1	1
その他								
計	92	145	648	83	968	1,841	1,595	1,112

※1 県営住宅等 随時募集

※2 被災した市町村における入居許可件数

※3 建設型（長野市）11/26(火)～随時募集

※4 国の合同宿舎については長野市内で13戸入居中

【令和元年東日本台風】

営農再開の進捗状況について

農政部

1 長野、北信地域の主な状況（果樹、野菜）

地域	品目	排土の進捗状況		営農再開の状況	
		撤去対象 (農地)	進捗率 (完了予定時期)	剪定作業等	防除
長野市	長沼	りんご 〈堤内地〉 116ha	〈堤内地〉 95% (5月中)	・ 平年並に実施	・ 平年並に実施中 〔※防除機械(SS)が間に合わない農家はJAのレンタルで対応〕
	篠ノ井・真島	もも 〈堤外地〉 190ha	〈堤外地〉 82% (5月中)		
	松代	ながいも		・ 春掘りの進捗は平年並み ・ 5月上旬から植え付けの予定	—
須坂市	りんご もも	〈堤内地〉 3ha 〈堤外地〉 40ha	〈堤内地〉 70% (4月中) 〈堤外地〉 95% (4月中)	・ 平年並に実施	・ 平年並に実施中
千曲市	りんご	〈堤内地〉 2ha 〈堤外地〉 29ha	〈堤内地〉 9% (5月中) 〈堤外地〉 10% (5月中)	・ 平年並に実施	・ 平年並に実施中
坂城町	りんご	〈堤外地〉 3ha	〈堤外地〉 33% (4月中)	・ 平年並に実施	・ 平年並に実施中
小布施町	りんご もも	〈堤外地〉 80ha	〈堤外地〉 13% (6月中)	・ 排土が遅れているほ場は、平年よりやや遅れ	・ 平年並に実施中 〔※排土の遅れているほ場では手散布による防除を実施〕
中野市	りんご もも	〈無堤地〉 30ha	〈無堤地〉 38% (5月上旬)	・ 排土が遅れているほ場は、平年よりやや遅れ	・ 平年並に実施中 〔※排土の遅れているほ場では手散布による防除を実施〕

※撤去対象の農地面積は、今後、農家の意向により増減する可能性がある

2 佐久、上田地域の主な状況（主に水稻）

地域	頭首工の被災により用水の確保が困難となった農地の状況		
	被災面積	水稻作付けが可能となった農地	代替作物で対応する農地
佐久	4,887ha (100.0%)	4,864ha (99.5%)	23ha (0.5%) 大豆・そば等
上田	2,368ha (100.0%)	2,295ha (96.9%)	73ha (3.1%) 大豆・そば・飼料作物等

※上記以外に、大規模な土砂流入や、農地の流失等で復旧に時間を要する農地が、佐久地域で113ha、上田地域で10haある

令和元年東日本台風に係る産業復興支援の状況について

産業労働部

1 商工業関係の被害状況 (R2. 2. 28現在)

925件、817億4,400万円(うち中小・中堅企業 888件、464億1,600万円)

※市町村の調査を基に県が集計(直接被害、推計値を含む)

2 主な支援制度の活用状況

産業復興支援センター相談・申請受付(R2. 4. 7現在)			2,617件
中小企業等グループ施設等 復旧整備補助金 (グループ補助金)	グループ 認 定 (4/14公表)	グループ数	23グループ
		構成員	225者
	交付決定	件 数	17者
		金 額	2億 541万円
中小企業融資制度経営健全化支援資金 (災害対策)(R2. 2 末現在)		件 数	104件
		金 額	15億1,475万円
持続化補助金台風19号型 (小規模事業者向け、商工会・商工会議所で受付)			219者

3 被災事業者の復旧事例(別紙参照)

4 今後の取り組みについて

(1) 地域窓口の開設

被災事業者の早期の事業再開に向けて、商工会、商工会議所等の支援機関との連携のもと、令和2年3月から産業復興支援センター(県庁東庁舎)に加え、県内5地域(佐久、上田、長野市豊野、千曲、北信)で相談や申請を受け付け、被災した全ての中小企業等がグループに参加できるよう促していく。

(2) 今後のスケジュール

ア グループ補助金(グループ認定申請・交付申請)

	受付期間	交付決定予定
第5次	令和2年4月1日(水)～4月16日(木)	6月下旬
第6次	令和2年4月17日(金)～5月21日(木) ※	7月下旬

イ 地域企業再建支援事業補助金

	受付期間	交付決定予定
第1次	令和2年4月1日(水)～4月24日(金) ※	6月上旬

※上記以降の日程は、決定次第、県HPで公表

県内被災事業者の復旧事例

(1) 自動車関連部品製造業（長野市穂保）

【被害状況】工場内に約 2 m の泥水が流入し、施設（床・壁）、機械設備、製品等に被害。

【復旧内容】R2 にグループ補助金の申請を予定。既存設備の修繕に加え、最新鋭の工作機械等を導入することで、新規顧客の獲得に取り組む。



【被災時】



【復旧後】

(2) 登山・スポーツ用品店（長野市赤沼）

【被害状況】店舗が浸水し、施設（床・壁）や、空調設備、商品等に被害。

【復旧内容】グループ補助金等を活用し、内装工事や空調設備を入替。リニューアルオープンに PR の機会と捉え、売上回復・新たな販路の開拓に取り組む。



【被災時】



【復旧後】

(3) 自動車整備工場（千曲市須坂）

【被害状況】工場の床下に埋め込まれている試験装置が水没し、修理不能に。

【復旧内容】グループ補助金等を活用し、これまで別個だった試験装置を、一体型の試験機に入替。作業効率を向上させることで、更なる売上増加に取り組む。



【被災時】



【復旧後】

「がんばろう信州！観光キャンペーン」について

営業局
観光部

11月21日の予算の専決処分に基づき、ふっこう割や地域との協働事業、これとタイアップしたプロモーションを県内外で展開する「がんばろう信州！観光キャンペーン」を展開し、県内外の皆さんと「ONE NAGANO」を合言葉に、観光、物産両面から本県の復興に取り組みました。

1 ふっこう割

長野県内における宿泊及び宿泊を伴う旅行商品の代金を1人1泊当たり最大5,000円割り引く本事業を被災14都県でいち早く実施し、落ち込んだ観光需要を喚起しました。

今後、ふっこう割の利用状況を分析し、効果的な誘客戦略を検討し、今後の事業に活かしていきます。

○ 販売(割引)額 3億6,672万円 (国内客 2億8,582万円 海外客 8,090万円)

○ 延べ宿泊者数 80,971人泊 (国内客 61,648人泊 海外客 19,323人泊)

(1) 実施期間

販売(予約)開始日：令和元年12月17日(14都県で最速)

割引対象期間：令和元年12月17日宿泊分～令和2年3月14日宿泊分
(うち12月28日～1月4日を除く)



(2) 割引内容

1人1泊の代金	10,000円以上	6,000円以上 10,000円未満	6,000円未満
割引金額	5,000円	3,000円	対象外

(3) 利用方法

- ・旅行会社で割引されたツアーや宿泊プランを購入
- ・インターネットの予約サイト(OTA)でツアーや宿泊プランを予約
- ・宿泊施設へ直接予約(旅行会社、OTAに部屋を提供していない施設に限る)

(4) 販売事業者数(95社、24施設)

旅行会社	88社	国内 65 海外 18 国内・海外両方 5
OTA	7社	国内 5 海外 1 国内・海外両方 1
宿泊施設	24施設	国内(旅行会社・OTAと契約がない施設のみ)

(5) 販売実績

① 事業者区分別の実績

		販売 事業者数	割引実績		
			人泊数	割引適用額 (千円)	割引額 構成比
国内旅行者 向け	旅行会社	70	37,505	180,101	49.1%
	OTA	6	23,595	103,485	28.2%
	宿泊施設	24	548	2,238	0.6%
	小計	100	61,648	285,824	77.9%
訪日旅行者 向け	旅行会社	23	10,637	49,998	13.6%
	OTA	2	8,686	30,902	8.4%
	小計	25	19,323	80,900	22.1%
合計	旅行会社	88	48,142	230,099	62.7%
	OTA	7	32,281	134,387	36.6%
	宿泊施設	24	548	2,238	0.6%
	合計	119	80,971	366,724	100.0%
未利用				34,904	

※旅行会社5社、OTA1社が国内、訪日両方を販売したため、合計の事業者数は国内向け、訪日向けの計と一致しない。

② 宿泊地域別の延宿泊者数（単位：人泊）

宿泊地域	国内旅行者		訪日旅行者		合計		
佐久	6,099	10,498	8,614	8,668	14,713	19,166	
上田	4,399		54		4,453		(23.7%)
諏訪	8,460	13,193	733	832	9,193	14,025	
上伊那	485		0		485		(17.3%)
南信州	4,248		99		4,347		
木曾	971	16,042	0	6,200	971	22,242	
松本	5,773		2,283		8,056		(27.5%)
北アルプス	9,298		3,917		13,215		
長野	11,699	21,915	1,230	3,623	12,929	25,538	
北信	10,216		2,393		12,609		(31.5%)
合計	61,648		19,323		80,971		

③ 出発地域別の延宿泊者数（単位：人泊）

(7) 国内旅行者

出発地域	人泊数	構成比
北海道・東北	909	1.7%
関東	24,877	46.6%
甲信越・北陸	12,375	23.2%
東海	6,576	12.3%
関西	6,670	12.5%
中国・四国	693	1.3%
九州・沖縄	1,238	2.3%
不明等	8,310	—

(4) 訪日旅行者

出発国(地域)	人泊数	構成比
中国	9,061	50.9%
香港	3,397	19.1%
台湾	2,574	14.5%
タイ	1,258	7.1%
オーストラリア	414	2.3%
フィンランド	392	2.2%
アメリカ	326	1.8%
シンガポール	147	0.8%
その他	244	1.4%
不明等	1,510	—

④ 出発地上位の都道府県（国内旅行者）

順位	出発都道府県	人泊数
1	東京都	12,344
2	長野県	9,616
3	神奈川県	4,631
4	愛知県	3,924
5	大阪府	3,559

【ふっこう割を活用した商品展開の例】

J R団体専用臨時列車「旅をチカラに 長野号」

（新宿～松本～長野）を利用したツアー

令和2年2月22日～23日 約350名が参加

大手旅行会社6社が旅行商品を販売

- ・ JTBメディアリテーリング（旅物語）
- ・ 日本旅行 ・ クラブツーリズム ・ 読売旅行
- ・ 阪急交通社 ・ びゅうトラベルサービス



FDAと連携したツアー



J R西日本と連携したツアー 下諏訪町観光振興局の取組み



2 観光復興に向けた地域協働事業

観光地域づくりに資する活動を行う団体（DMO、観光連盟、観光協会、広域観光連盟、協議会等）が協働して行う、被災により落ち込んだ観光需要喚起のための広域的な取組みを支援するとともに、地域DMOの機能強化等今後の観光産業の基盤を強化に取り組みました。

（1）対象事業

被災により落ち込んだ観光需要の喚起及び今後の誘客につながる事業

（2）支援対象者

観光地域づくりに資する活動を行う団体（DMO、観光連盟、観光協会、広域観光連盟、協議会等）

（3）交付決定事業

14事業を交付決定 事業一覧は別紙（7P）のとおり

【主な事業効果】

○ 灯明まつり(2/6～11 サブテーマに「災害復興」を掲げて開催)

アーティストによる復興イベントや被災リンゴの販売・被災酒蔵の酒のふるまいなど多彩な企画で来場者は昨年度の40万人を超え、参加者一体となって復興への祈りを発信しました。

○ 木曾エリアスキー場情報発信

権兵衛トンネルが通行再開となったことから、伊那エリアや近隣県にターゲットを絞ったプロモーションにより、雪不足であったにも関わらず好調な入込となりました。対前年比118.1%（12～2月）

○ 「つながる灯り」上田広域観光プロモーション

上田電鉄の橋梁一部崩落の影響を受けた別所温泉エリアでは、県内や首都圏向けにプロモーションを実施。上田アリオでの物産販売や抽選会イベントには約1,500人が訪れ、復興の足掛かりとなった。

○ 一方で、コロナウイルスの感染拡大により4つの事業が中止、1つの事業が縮小して実施せざるを得なかった。

3 メディアでのプロモーション（92回）

（1）テレビ（22回）

県内	10	abn「駅前テレビ」、NBS「ふるさとライブ」 テレビ信州「冬の祭典2020」、 「ONE NAGANO CMキャンペーン」 等
県外	12	日本テレビ「スッキリ」、テレビ朝日「グッド!モーニング」 読売テレビ「遠くへ行きたい」 等

（2）ラジオ（42回）

県内	3	「ONE NAGANO CMキャンペーン」 JFN系列5局ネット「スノー特別番組」 等
県外	39	文化放送「峰竜太とみんなの信州」 RKBラジオ「電リクじゃんけん」内 中島理恵のさわやか信州リポ ート、ラジオ日本「Hello! I, Radio〜ハロー! アイレディオ〜」 等

（3）新聞、（17回）

県内	3	信濃毎日新聞
県外	14	朝日新聞、中日新聞、産経新聞、スポーツニッポン 等

（4）雑誌（4誌）

旅の手帖(4月号)、トランヴェール(4月号)、西 Navi(3月号)、自遊人(2月号)

（5）その他（7）

JR東日本		首都圏の主要駅や車内のデジタルサイネージでの観光動画PR
JR東海		テレビCM、主要駅デジタルサイネージでの観光動画PR
JR西日本		関西圏の主要駅や車内デジタルサイネージでの観光動画PR
NEXCO東日本・中日本		SAデジタルサイネージでの観光動画PR 等
NEXCO東日本(長野)		長野IC、坂城ICオーバブリッジへのPR幕掲出
Yahoo!ニュース		「One Nagano」プレゼントキャンペーン等のPR
銀座NAGANO		情報マガジン「つなぐ」特別号

4 イベント展開（65回）

（1）大都市部での実施（39回）

東京	28	無印良品銀座での被害りんご販売 相鉄ローゼン応援りんご販売 信州復興支援マルシェ(上野駅) 富山県と連携した観光物産展 銀座NAGANOオープン5周年イベントでの復興支援呼びかけ 等
名古屋	5	6県合同冬の物産展 信州・松本地域物産と観光展スノーリゾートキャンペーン 等
大阪	6	大阪城まつりでの被災地産りんご販売 松本山雅×ガンバ大阪戦におけるPR 神戸空港開港14周年記念イベントでのPR 等

※このほか、新型コロナウイルス感染症の影響により9件実施中止

(2) 県内での実施 (20 回)

長野駅	信州復興支援マルシェ
JR長野駅自由通路	被災農家応援バナー掲出
松本平広域公園総合球技場	「松本山雅ホームゲーム」での被災地産りんご配布
県内スキー場	1Dayスキー体験教室、スキーこどもの日

※このほか、新型コロナウイルス感染症の影響により 5 件実施中止

(3) その他 (6 件)

長野県冬の宿泊キャンペーン2019-2020、「ONE NAGANO」プレゼントキャンペーン など

【長野県冬の宿泊キャンペーン】

県内宿泊施設にご宿泊された県外在住者に抽選で銀座NAGANOセレクトの信州特産品をプレゼントするキャンペーンを展開し、県外からの誘客に取り組みました。(R1. 12. 13~R2. 2. 26)

- ・応募総数：332件 (当選数220)
- ・キャンペーン特設サイト (公式観光サイト「Go nagano」内) のページビュー数：29, 495PV
- ・賞品：Aコース (2泊以上) = 10, 000円相当 (20名)、
Bコース (1泊以上) = 5, 000円相当 (50名) & 3, 000円相当 (150名)

5 地域振興局等との横断的な連携

部 局	取 組 例
長野地域振興局	「ながの果物語り新幹線マルシェ」【連携先:JR 東日本】(11 月) 旬を迎えた果物等の販売に合わせて、「がんばろう信州！」のPR など
上田地域振興局	「つながる灯りキャンペーン」【連携先:観光関係団体】(1 月~2 月) Instagramを活用したキャンペーンや観光PR、「上田氷灯ろう夢まつり」のイベント開催、上田電鉄への地元園児からの応援メッセージの贈呈など
北アルプス地域振興局	「特急あずさ復活プロモーション」【連携先:JR東日本等】(12 月) 特急あずさの運休による宿泊客減からの巻き返しを図るため、JR立川駅で観光PR
上伊那地域振興局	「テレビ信州「冬の祭典 2020」」【連携先:地域連携DMO】(2 月) テレビ信州のイベント番組内で国道 361 号権兵衛トンネルの復旧告知及び上伊那地域への誘客プロモーションを実施すると共に、イベント会場でブース出展してPR
南信州地域振興局	「義援金呼びかけ」【連携先:市町村】(10 月~2 月) 管内県主催イベント等にて義援金箱及び義援金協力パネルを設置し、呼びかけを実施

他 30 件以上

別紙

○地域協働事業 実施事業一覧（14事業）

事業類型	事業名	事業主体	事業内容
I 被災地復興 支援	長野灯明まつりにおける災害からの復興支援企画	第十七回長野灯明まつり実行委員会	被災者の心に「光」を届ける復興支援イベントを実施。被災した酒蔵のお酒、りんごも販売。同時期に開催されるいいやま雪まつり、北向き観音ライトアップなどもPR。
	SAKU SAKUマルシェ実施事業 復興の先にある持続可能な観光地域づくり ※	佐久市観光協会 佐久市 など	復興PRイベントを佐久平駅周辺で開催。復興をテーマとした物産・観光市民イベント、佐久市だけではなく、JR小海線沿線の市町村からも出展者等を募り実施。
II 新たなコンテンツ づくり	ちくま湯けむり女子旅きっぷ 企画・制作事業	信州千曲観光局	若い女性層をターゲットとした宿泊・交通・飲食・登山、棚田体験や夜景等を組み合わせたお得なクーポンを造成するプロジェクトの企画立案、デザイン制作。
	Out of KidZania in 白馬 開催事業 ※	白馬村観光局 HAKUBAVALLEY TOURISM	災害にも負けない持続可能なマウンテンリゾートをめざし、子供職業体験テーマパークであるKidZaniaと協力し、スノーリゾートでの子供の仕事体験プログラムを実施する。集客の目玉にするとともに、将来的な移住を促進。
	信州シルクロードの魅力発信事業	信州シルクロード連携協議会	シニア層、女性層をターゲットに首都圏メディアの招聘を実施。
	新しい出会いと体験、スノーリゾート & 須高地域観光発信事業 ※	須高地域広域観光協議会	FIT（個人旅行）市場に対して有効な旅行会社等のFAMトリップ（現地視察ツアー）の実施、雪上運動会などスキー以外の雪コンテンツを活用したイベントの開催。
III Webプロ モーション	木曽エリアスキー場情報発信事業	木曽地区スキー場連絡協議会	権兵衛トンネル通行再開をふまえ、伊那地区マーケットに向けて地域のフリーペーパーに広告を掲載。また、検索履歴のある中京圏在住者などにターゲットを絞った効果的なWEBプロモーションも実施。
	「天空の楽園Winter Night Tour」プロモーションと南信州周遊促進事業	(株)阿智屋観光局 JAみなみ信州 飯伊森林組合	人気商品となっている星空ツアーを今シーズンから冬にも開催。そのプロモーションとしてインターネット広告と女性向け雑誌広告を実施し、宿泊キャンセルのあった屋神温泉を始め南信州エリアへの周遊を促進。
IV デジタルマー ケティング	アウトドアを中心とした広域観光連携デジタルマーケティングプラットフォーム構築事業	信州いいやま観光局	信越自然郷アクティビティセンターのWebサイトに、地域ガイドが案内する「体験ツアー商品」の予約決済機能や、魅力的な遊び方を提案するコンテンツを付加し、機能を強化。
	スノーリゾートの新たな価値創造事業	山ノ内町観光連盟	スキー以外でウィンターシーズンを楽しみたい観光客を増やすためのスノーリゾートの楽しみ方を、モニターツアーやデジタルマーケティングにより開発し、旅行商品造成や情報発信に活用。
V インバウンド	海外メディア等を活用した欧米プロモーション ※	軽井沢観光協会 しなの鉄道(株)及び沿線協議会 ながの観光コンベンションビューロー 信州上田観光協会 松本観光コンベンション協会 など	県内ALTによる情報発信、欧米メディアの活用、ランドオペレーターへの営業などを通じた「ろくもん」等しなの鉄道沿線の魅力を発信。
	中国FITプロモーション ※	北信濃観光連盟	中国の都市在住高所得者をターゲットとした、14市町村合同での中国最大のOTAとの長野県のグリーン期の魅力を伝える共同プロモーションを実施。
	中国映像メディアの活用による長野市を起点とした広域観光誘客事業	ながの観光コンベンションビューロー 松本観光コンベンション協会 しなの鉄道(株) (株)五竜	中国で日本に関心が深い、訪日旅行を検討中のユーザーに訴えることができるテレビ番組制作チームを招請し長野、東信地域、松本、白馬を広域的に紹介。
I 被災地 復興支援 IV Web	「つながる灯り」上田広域観光プロモーション	信州上田観光協会 信州上田まつり実行委員会 長野県旅館ホテル組合会上小支部	復興をテーマとした上田地域全域の各種観光関連イベント、首都圏向けプロモーション、OTAと連携した宿泊キャンペーンを実施。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止又は縮小して実施した事業

○ メディア情報発信

① テレビ番組「おはようコール」(朝日放送テレビ)

放送日：1月23日(木) 6:20～約10分放送

内容：小布施町・白馬村・上田市・松本市の観光地及びF D Aの松本～神戸便を紹介。

阿部知事が出演し、関西圏の視聴者に“長野県に旅行へ来てもらうことが復興に繋がる”ことをアピール。



② テレビ番組「おはよう朝日です」(朝日放送テレビ)

放送日：2月25日(火) 6:45～8:00のうち約10分放送

内容：リポーター2人が善光寺のグルメや観光スポット、白馬のアクティビティの楽しみ方を紹介。

プレゼント応募総数：3,375件



③ テレビ番組「スッキリ」(日本テレビ)

放送日：2月27日(木)、28日(金) 8:00～10:25のうち
約20分×2日間放送

コーナー名：#ハッシュタグの旅

内容：日本テレビの人気アナウンサー水トアナウンサー及び森アナウンサーが、長野市を中心に飯山市のかまくらの里、善光寺、戸隠神社周辺の観光及び食について紹介。



④ テレビ番組「遠くへ行きたい」(読売テレビ)

放送日：3月15日(日) 日本テレビ (6:30～7:00)

読売テレビ・中京テレビ (7:00～7:30)

3月29日(日) テレビ信州 (6:30～7:00) ※予定

内容：浜口京子さんが「春だ！気合いだ！善光寺平丸かじり」をテーマに、長野市(善光寺)、飯山市、小布施町、飯綱町、木島平村の長野旅を紹介。



⑤ J R東日本 新幹線車内搭載紙「トランヴェール」

掲載日時：4月号(4/1設置予定)

内容：「ONE NAGANO」特集ページとして生産者の復興に向けた想いや県内イベント情報を1ページ掲載



⑥ J R東日本と連携した観光P R

期間：3月3日(火)～

内容：首都圏の駅や車内のデジタルサイネージにて長野県の観光P R動画を放映 ※食や体験コンテンツ



⑦ J R東海と連携した観光P R

期間：3月1日(日)～

内容：中京圏内のテレビCMや、駅のデジタルサイネージにて長野県の観光P R動画を放映 ※しなの号沿線エリア



⑧ JR西日本と連携した観光PR

期間：3月9日（月）～

内容：関西圏の駅や車内のデジタルサイネージにて長野県の観光PR動画を放映 ※北アルプス国際芸術祭、白馬 wow!等



⑨ 雪不足対策の一環として県内民放等を使ったスノーのPR

■信越放送「ずくだせテレビ」(2/17)

「ミタイノコレクション」(2/29) (※富山県の系列局で放送)

■長野放送「ふるさとライブ」(2/14、2/21、2/28)

■長野朝日放送「駅前テレビ」(2/15、2/22、2/29)

「今夜の看板娘」(2/17) (※石川県の系列局で放送)

「とびっきり!しずおか」(2/8、2/15)

(※静岡県の系列局で放送)

■ラジオ日本「Hello!I, Radio〜ハロー!アイレディオ!」

日時：2月10日（月）～14日（金）

内容：県内のスキー場PR（中継）



〇イベント展開

(1) 大都市部での実施イベント

① 信州復興支援マルシェ

期間：11月29日（金）

場所：JR上野駅

内容：JRと連携し、冬の観光PRとりんご、白菜、野沢菜、そばなどの特産品を販売



上野駅で観光PRと特産品販売

② 松本山雅×ガンバ大阪戦におけるPR

期間：11月30日（土）

場所：パナソニックスタジアム吹田

内容：大阪観光局と連携し、来場者へ冬のスキーをPRするとともに、災害復旧への支援にするメッセージを発信



松本山雅×ガンバ大阪戦でのPR

③ おいしいにっぽんフェス

期間：1月12日（日）

場所：恵比寿ガーデンプレイス

内容：JR東日本と連携し、ウィンターシーズンの観光PRを実施。りんごなどの特産品の試食や販売も実施



おいしいにっぽんフェスでのPR、特産品販売

④ 信州・松本地域の物産と観光展でのスキーPR

期間：1月14日（火）～16日（木）

場所：金山総合駅（名古屋市）

内容：松本地域の物産展の開催に合わせて、アルクマとともに中京圏の皆さまに長野県のスキー場をPR。



金山総合駅でスキーPR

⑤ 魅力発見！全国ご当地マラソン 2020 での観光PR

期間：1月10日（金）～19日（日）

場所：東京ドーム

内容：期間中に会場内の被災地支援コーナーで観光パンフレット等を配布したほか、18日（土）はアルクマとともに長野県観光をPR。



全国ご当地マラソン 2020 でのPR

⑥ 神戸空港開港14周年記念イベント【企画振興部】

期間：2月16日（日）

場所：神戸空港ターミナルビル

内容：県全体の災害復興を目的とした観光PRとともに諏訪市と連携し、日本酒の試飲や広域周遊観光の魅力をPR。



神戸空港14周年記念イベントでのPR

⑦ 「うまさ一番 富山のさかなフェア」 in 東京でのPR

期間：2月3日（月）～5日（水）

場所：KITTE 地下1階 東京シティアイ

内容：富山県と連携し、県内の観光コンテンツを紹介するほか、ふっこう割商品のPRを実施。



KITTE でのPR

(2) 県内での実施イベント

① ゆるキャラグランプリ 2019 in しあわせ信州 NAGANO

期間：11月2日（土）～3日（日）

場所：エムウエーブ

内容：ボランティア参加や義援金の呼びかけ
全国のゆるキャラと一緒に長野県をPR



お客様に義援金を呼びかけ

② 信州復興支援マルシェ

期間：12月14日（土）、15日（日）

場所：JR長野駅

内容：観光PRやりんご・野菜の販売、新幹線から降車されたお客さまへりんごを配布



長野駅で子どもたちに風船をプレゼント

③ スキーこどもの日

期間：1月19日（日）

場所：鹿島槍スキー場

内容：長野県PRキャラクター「アルクマ」と信州観光宣伝部長「こてつ」をスキー場へ派遣し、ライブパフォーマンスやスキー場の独自イベントの賑やかしを実施



スキー場でのPR

ONE NAGANOの取組について

営業本部

1 営業局の取組

(1) 大都市圏等でのイベント展開

①無印良品銀座での被害りんご販売

- ・期 間：11月10日（水）から約1か月間
- ・場 所：無印良品銀座1F食品売場
- ・内 容：台風19号で甚大な被害を受けた長野市赤沼・豊野地区などの農家の経営再建に向けた取り組みを首都圏から応援することを目的として、台風の強風にも耐えたりんご(若干の擦り傷あり)を販売



無印良品でのりんご販売

②赤坂アークヒルズ長野フェア

- ・場 所：赤坂アークヒルズ アーク・カラヤン広場
- 「NAGANO マルシェ」での被災地応援りんごの販売
- ・開催日：11月23日（土）10:00～17:00
- ・内 容：「ONE NAGANO」シールを貼付した被災地応援りんごを事務局ブースにて販売



被災地応援りんご

○被災地産りんごアップルパイの販売

- ・開催日：11月22日（金）～約1か月間
- ・内 容：赤坂アークヒルズカフェにて、被災地産りんごを活用したパイを提供

②大阪城まつりでの被災地産りんご販売

- ・期 間：11月23日（土）
- ・場 所：大阪城公園
- ・内 容：JA全農長野と連携し、被災地産のりんごを販売。農家の経営再建の応援を呼びかける「がんばろう長野」バナーを掲出。



大阪城祭りでのりんご販売

③相鉄ローゼン応援りんご販売

- ・期 間：11月27日～12月15日
- ・場 所：相鉄ローゼン 55店舗（神奈川県を中心に展開するスーパー）
- ・内 容：各店舗での被災地産りんご販売と義援金募集「ONE NAGANO マーク」により被災地支援を呼びかけ（ポスター、短冊、ポップ）。約6トン（600ケース）販売
相鉄ローゼンHPでの情報発信



相鉄ローゼンでのりんご販売

⑥長野フェア「ビストロ料理で信州りんごを楽しもう」

- ・期 間：12月5日～約2週間
- ・場 所：ビストロ SARU 都内5店舗
- ・内 容：各店舗で、被災地産りんごを使ったオリジナルメニューを提供



都庁長野フェアチラシ

⑦都庁食堂長野県フェア（東京都との連携）

- ・期 間：12月16日（月）～20日（金）
- ・場 所：都庁第一本庁舎32階・第二本庁舎4階各職員食堂
- ・内 容：東京都との連携による被災地支援の一環で、都庁職員食堂の夜間特別メニューとして、長野県の料理やお酒を提供（信州そば、山賊焼き、野沢菜茶漬け、みそ、日本酒、ワイン等）

③豊洲市場おいしい土曜マルシェ出店（東京都との連携）

- ・期 間：1月18日（土）
- ・場 所：豊洲市場野外催事スペース
- ・内 容：りんごなど県産農産物の物販やキノコ汁など飲食提供を行うとともに、県への観光誘客や義援金への協力を呼びかけ



小池東京都知事が長野県ブースを激励

(2) 県内での実施

①JR長野駅への被災農家応援バナー掲出

- ・期 間：11月15日（金）～12月9日（月）
- ・場 所：JR長野駅自由通路
- ・内 容：JA全農長野と連携し、農家の経営再建の応援を呼びかける「がんばろう信州」バナーを掲出



長野駅バナー掲出

②松本山雅ホームゲームでの被災地産りんご配布

- ・期 間：11月23日（土）
- ・場 所：松本平広域総合球技場
- ・内 容：JA全農長野と連携し、被災地応援メッセージを込めた「ONE NAGANO シール」を貼付した



松本山雅ホームゲームでのりんご配布

(3) 情報発信

①ラジオ番組「峰竜太とみんなの信州」での発信

- ・11月2日～ 被災地の状況、義援金、ボランティア参加の呼びかけ
- ・放送局/放送時間 文化放送 毎週土曜日 6:45～7:00
- 東海ラジオ 毎週土曜日 13:40～13:55
- 信越放送 毎週日曜日 12:25～12:40

②FMながの『Best Style!』の「しあわせ信州ナビゲーション」での発信

- ・「ONE NAGANO」を合言葉に、復興に向けた行動を呼びかけ
- ・12月13日 12時～放送

③銀座 NAGANO 情報マガジン「つなぐ」特別編集号での発信

- ・つなぐ2020年1月号で、ONE NAGANOをキーワードに、4ページにわたり復興への取組を紹介
- ・12月15日発行



つなぐ2020年1月号表紙

④産経新聞・産経WEBでの「アルクマだより」発信

- ・被災地の今を伝えるとともに、県内への旅行や特産品購入による復興支援を呼びかけ
- ・12月20日連載開始（1月10日以降隔週で計6回掲載）



12月20日付けアルクマだより

⑤県内民放5局連携”ONE NAGANO” CM キャンペーン

- ・期 間：12月28日（土）～3月末
- ・内 容：長野県のテレビ・ラジオの民間放送局5局（信越放送、長野放送、テレビ信州、長野朝日放送、長野エフエム放送）が連携し、台風第19号災害からの復興の取組への参加・協力を呼びかけるCMキャンペーンを展開



ONE NAGANO CM の一場面

⑥テレビ信州特別番組「冬の祭典2020」でのONE NAGANOメッセージの発信等

- ・期 間：2月1日（土）
- ・場 所：ホクト文化ホール駐車場
- ・内 容：テレビ信州特別番組「冬の祭典2020」の生放送中に、「こてつ」さんのインタビューに答える形で、ONE NAGANOメッセージをPR併せて、番組連動イベントの長野県ブースで来場者に義援金への協力を呼びかけ



生放送で ONE NAGANO をPR

⑦テレビ朝日「グッド！モーニング」お天気中継でのPR

- ・期 日：2月7日（金）5:30～7:45
- ・場 所：飯山市かまくらの里
- ・内 容：全4回あるお天気コーナーにおいて、観光復興と災害復興のため、かまくらの里の状況を現地からの生中継で全国に紹介
7:35からのコーナーでは、知事が出演し、復興への感謝や冬の観光誘客を呼びかけ



知事とアルクマがかまくらの中から PR

2 銀座NAGANOの取組

①義援金の受付開始

- ・期 間：10月16日（水）～
- ・場 所：1階バルカウター、2階観光インフォメーションコーナー（計2カ所）

②被災地への応援メッセージボードの設置

- ・期 間：10月17日（木）～
- ・内 容：首都圏の皆様からのメッセージを店頭に掲出

③オープン5周年イベントでの復興支援の呼びかけ

- ・期 間：10月26日（土）、27日（日）
- ・被災地への応援メッセージを1階窓ガラスに貼付掲出
- ・義援金箱を2カ所増設して義援金を受付
- ・りんご、キノコの店頭販売売上額の50%を義援金として寄付
- ・県産品が当たるゲームの参加費を全額義援金として寄付
- ・永久観光大使峰竜太さんによるトークショー「銀座から長野へ元気を届けよう」を開催。被災地の正確な状況を説明するとともに支援を呼びかけ

④カタログギフト「信州産直便」で被災地産りんごを販売

- ・期 間：10月30日（水）～12月20日（金）
- ・内 容：店頭で注文ができるカタログギフトで、台風に耐えたりんごを取扱

⑤知事による被災地産りんご販売・復興支援の呼びかけ

- ・期 間：11月20日（水）13:30～14:30
- ・阿部知事、「もう中学生」さん及びアルクマが、銀座NAGANO店頭で被災地産りんごを販売し、収益を全額義援金として寄付
- ・りんご販売終了後、2階イベントスペースで記者会見。阿部知事が、義援金・寄付金への協力、ボランティアへの参加、県産品の購入や長野県への旅行など、復興支援への協力を依頼

⑥ONE NAGANO タペストリーの設置

- ・期 間：12月26日～
- ・内 容：銀座NAGANO 1階店舗正面ガラスに「ONE NAGANO」タペストリーを貼付し、通行人に復興への取組みをPR

⑦寄付金付きピンバッジの販売

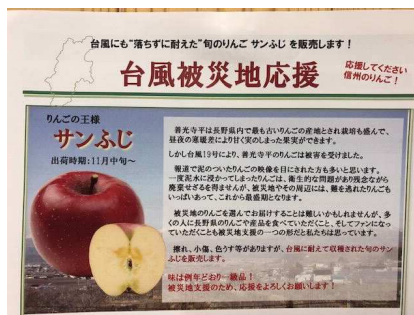
- ・期 間：1月10日（金）～
- ・場 所：銀座NAGANO店舗（1階、2階）
- ・内 容：復興支援のため、寄付金付きの「アルクマ」×「ONE NAGANO」のピンバッジを販売



応援メッセージボード



店頭でのりんご販売・義援金募集



カタログギフト「信州産直便」



りんごを手渡す阿部知事



ピンバッジ販売の様子

⑥チャリティーコンサートの開催

- ・12月4日(水) 岩渕みずき(サクソフォン)
- ・12月5日(木) 松谷明日香(チェロ)
- ・12月19日(木) 中村ゆかり&里奈(ヴァイオリン二重奏)
- ・1月14日(火) 飯島諒(フルート)&飯島未来(ピアノ)
- ・1月20日(月) すみまるデュオ(炭崎友絵(オーボエ)、丸山佳織(ファゴット))
- ・1月20日(月) ホルン三重奏(勝俣泰、阿部麿、吉澤夏未)
- ・2月19日(水) KOTONONE(堀子孝英(オーボエ)、堀子慶子(ヴァイオリン))
- ・2月21日(金) 國末貞仁(サクソフォン)
- ・場 所: 2階イベントスペース
- ・内 容: 12月に引き続き、長野県出身アーティストなどによるコンサートを開催
演奏者が被災地の現状を説明し、義援金などの支援を呼びかけ



台風災害について語る演奏者



フルートとピアノのアンサンブル

⑧ONE NAGANO プレゼントキャンペーン

- ・期 間: 1月14日(火)～2月16日(日)
- ・内 容: 銀座NAGANOで1,000円以上のお買物をした方に、抽選で、県内宿泊施設利用補助券(2万円分)や県内スキー場リフト1日券をプレゼント
キャンペーンについて以下のメディア等により周知
 - ・FM軽井沢、中央エフエム
 - ・スポーツ紙(東中スポ、スポニチ、日刊スポーツ)
 - ・Yahoo! ニュース

⑨ONE NAGANO 応援キャンペーン

- ・期 間: 2月1日(土)～2月29日(土)
- ・内 容: 銀座NAGANOでお買物をした売上の一部を、
義援金として寄付

⑩みずほ銀行大手町本部ビル社員食堂長野フェア

- ・期 間: 1月29日(水)～1月31日(金) 10階
2月4日(火)～2月6日(木) 11階
- ・内 容: 長野県産食材を使用したメニューを提供する
長野フェアに合わせ、復興支援の呼びかけや
ONE NAGANO キャンペーンのPR等を実施



みずほ銀行社食にてチラシ配布



三井住友銀行長野県ブース

⑩三井住友銀行復興支援物産展

- ・期 日: 2月19日(水)
- ・場 所: 三井住友銀行東館(千代田区丸の内) 1階
- ・内 容: 台風19号被災7県による復興支援物産展
物産販売に合わせ、義援金協力を呼びかけ

インフラ復旧の査定状況

インフラ復旧チーム
令和 2 年 3 月 31 日時点

項目		査定件数※	査定決定額 (千円)	備考
公共土木施設	県	897	35,670,464	
	市町村	398	7,297,157	
農業関係	頭首工	330	6,461,962	
	水路・農道等	427	8,482,822	農村公園 1 件含む
	農地	2,911	16,963,470	
林業関係	治山	14	899,688	
	林道	212	1,860,460	
上水道	市町村	4	513,866	査定未実施 1 件含む
下水道	県	4	12,574,310	他未申請あり
	市町村	30	5,715,794	
	農業集落排水	7	53,878	
合計		5,234	96,493,871	

※被害箇所のうち、公共土木施設災害復旧事業国庫負担法等による査定を実施した件数

「大規模災害ボランティア活動応援事業」の実施について

健康福祉部
地域福祉課

1 趣 旨

大規模災害時に、被災者の生活の早期復旧、自立を支援するため、被災地でボランティア活動を行う団体・グループを支援することにより、災害ボランティアが活動しやすい環境づくりを推進する。

2 事業内容

地域外からのボランティアを受け入れる現地災害ボランティアセンターが設置もしくは設置が見込まれる災害において、復旧期の被災者支援活動（被災者宅のがれき撤去、泥かき、農業支援や地場産業復旧支援等）に参加するボランティアグループの活動費の一部を助成する。

3 事業主体

(社福)長野県社会福祉協議会

4 助成対象

(1) 対象となる者

5人以上の団体・グループ（被災地が県外の場合、県内に拠点を置く団体等に限る。）であって、以下の条件に該当するもの

- ①代表者の年齢は20歳以上であること（活動参加者全員が20歳未満の場合は、20歳以上の引率者を必要とする。）
- ②宗教活動、政治活動、営利活動を目的とする団体・グループでないこと
- ③反社会的活動を行う団体・グループでないこと

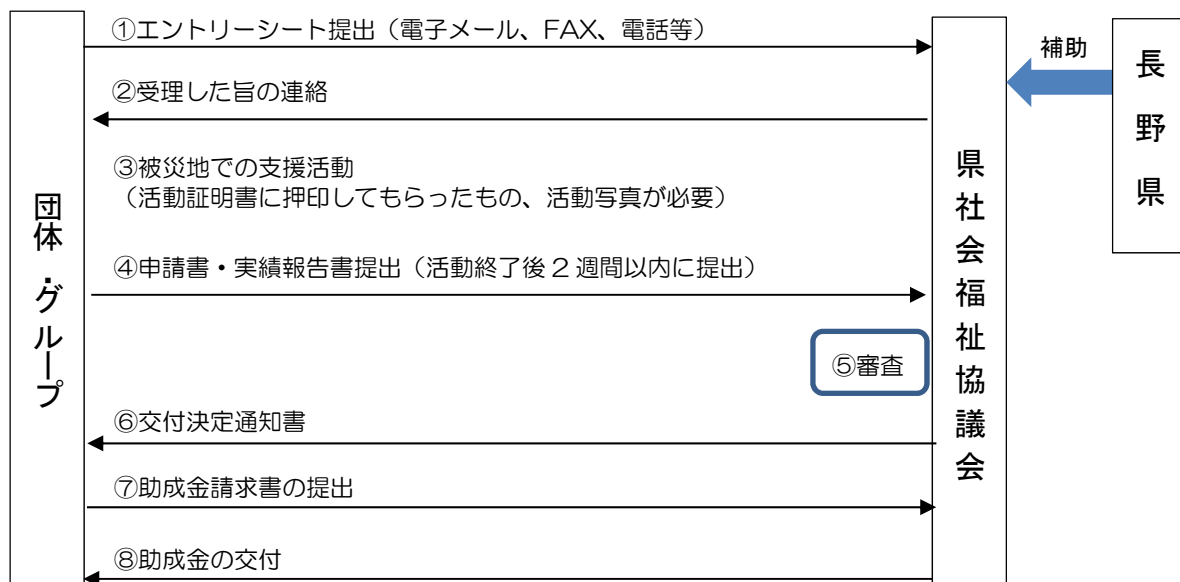
区 分		県内に拠点を置く団体・グループ	県外に拠点を置く団体・グループ
被災地	県内	対 象	
	県外		

(2) 助成額 1団体・グループあたり上限20万円（千円未満切り捨て）

(3) 助成対象経費

区 分	対 象 と な る 経 費
交通費	○貸切バス（運転手、燃料代込）の利用料、高速道路使用料（申請による減免が受けられない場合に限る。以下同） ○レンタカー利用料、高速道路使用料、燃料代 ○マイカー利用の場合の高速道路利用料、燃料代 ○公共交通機関利用の場合の往復の交通費
宿泊費	○1実働日ごとに1泊とし、食事代は除く。
活動費	○災害ボランティアのために使用する重機、軽トラック等の借上料（燃料代相当分・・・1日当たり重機3,000円、軽トラック1,000円／台）

5 事業のスキーム



6 予算額

10,000千円（ふるさと信州寄付金）



“ONE NAGANO 基金”がスタートしました

～東日本台風災害からの復旧・復興に向けて～

令和元年東日本台風（台風第19号）災害からの復旧・復興に向けて、被災者に寄り添ったきめ細やかな活動を支援する“ONE NAGANO 基金”が立ち上がりました。

ONE NAGANO 基金の活用にあたり、皆様から寄付によるご支援をお願いしています。

また、助成金の募集が開始されましたので、支援団体の皆様は積極的な活用をお願いいたします。

1 ONE NAGANO 基金とは

NPO や地域の団体の皆様による、被災者に寄り添ったきめ細やかな活動を支援するために、長野県 NPO センターを運営主体として、長野県災害時支援ネットワークと県が協力して立ち上げました。個人や企業・団体からの寄付をもとに、被災者・被災地の支援活動を行う県内の団体を支援します。

⇒ウェブサイト：<https://onenagano.net/>



2 寄付する～被災者・被災地に想いを寄せる皆様へ～

3月2日から、ONE NAGANO 基金への寄付の募集を開始しました。皆様からいただいた寄付は、被災者を支援する団体を助成する原資（3を参照）とします。

寄付は①クレジットカード②銀行振込・郵便振替③現金により受け付けています。

3 助成を受ける～被災者を支える団体の皆様へ～

3月16日から、被災者支援活動を行う団体への助成金の募集が始まりました。

【助成金募集の概要】

- ・対象団体：長野県内に活動拠点を置き、公共的活動を行う非営利の団体
- ・対象期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日に実施予定の事業
- ・助成金額：1団体あたり原則として上限50万円
- ・募集期間：3月16日（月）～4月20日（月）17時まで ※必着

4 ご寄付・助成の応募先

長野県 NPO センター（ONE NAGANO 基金事務局）080-5070-9917

詳しくは ONE NAGANO 基金ウェブサイトへ⇒

ONE NAGANO 基金 検索

長野県災害時支援ネットワーク
ONE NAGANO 基金事務局
特定非営利活動法人長野県 NPO センター
（事務局長）山室 秀俊
電話 080-5070-9917（専用ダイヤル）
E-mail saigaikikin@onenagano.net

県民文化部 県民協働課 協働・NPO係
（課長）早川 恵利（担当）北澤 淳
電話 026-235-7189（直通）
026-232-0111（代表）内線 2864
FAX 026-235-7258
E-mail kyodo-npo@pref.nagano.lg.jp



みんなでひとつに がんばろう信州

みなさまからの♡
寄付をお願いいたします。

寄付のお申し込みは、ホームページにて!



信州災害支援寄付基金 みんなでひとつに がんばろう信州

One nagano 基金

<https://onenagano.net> ▶▶▶



長野県PRキャラクター「アルクマ」の長野県アルクマ

寄付
受付期間

令和2年 3月2日 ~ 8月31日

目的

令和元年台風19号被災者を支援する団体への助成をします。
今後、長野県内で発生しうる大規模災害支援活動の基盤にします。

🍏 ONE NAGANO基金とは

令和元年10月の台風19号災害により、長野県では、千曲川流域を中心に広範囲で、甚大な被害を受けました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

災害発生以来、県内外から多くの支援団体やボランティアに支えられ、復旧が進んできました。いま、より被災者や生活者の視点に立った、柔軟できめ細かい復興支援活動が望まれています。

「ONE NAGANO 基金」(信州災害支援寄付基金)は、長野県と長野県災害時支援ネットワークが協働で立ち上げました。

NPOや市民グループなど多様な主体による支援活動への助成を行う原資とします。みなさんの力で心をひとつに、災害からの早期の復旧・復興を目指して行きましょう!

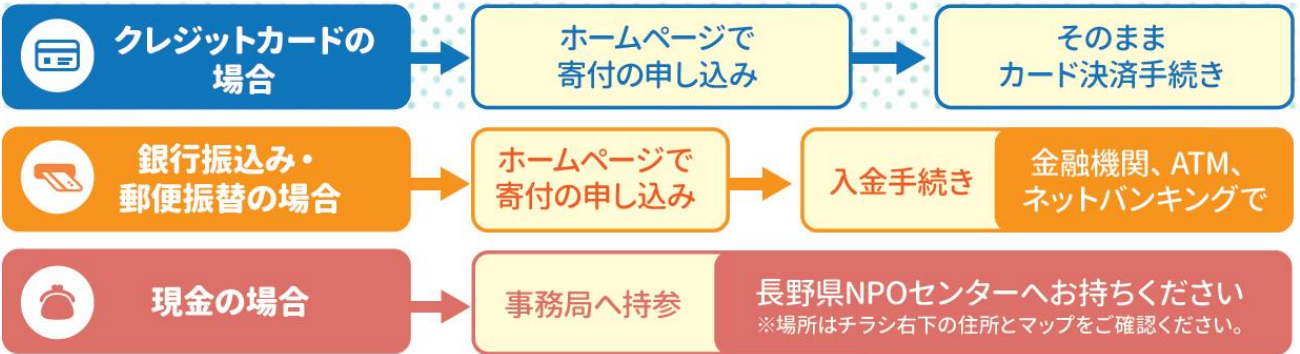


基金の仕組み



🍏 寄付お申し込みの流れ

ホームページは
こちらから



🍏 こんな活動に助成します 🍏

<p>こどもの居場所 学習支援活動</p>	<p>被災地での 居場所・サロン活動</p>	<p>被災者生活 支援活動</p>
<p>コミュニティ 支援活動</p>	<p>情報発信・ 復興イベント等</p>	<p>ボランティアなど 人材育成活動</p>

3月16日から、被災者支援活動を行う団体への助成金の募集が始まりました。

【助成金募集の概要】

- 対象団体：長野県内に活動拠点を置き、公共的活動を行う非営利の団体
- 対象期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日に実施予定の事業
- 助成金額：1団体あたり原則として上限50万円
- 募集期間：3月16日（月）～4月20日（月）17時まで ※必着

「ONE NAGANO 基金」は長野県と長野県災害時支援ネットワークの協力で運営する災害支援のための“協働”基金です。

長野県災害時支援ネットワーク構成団体：長野県NPOセンター、長野県社会福祉協議会、長野県生活協同組合連合会、日本労働組合総連合会長野県連合会、長野県共同募金会、日本青年会議所北陸信越地区長野ブロック協議会、長野県長寿社会開発センター

※特定非営利活動法人長野県NPOセンターが、事務局として運営責任を担っています。



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ



信州災害支援寄付基金 みんなでひとつに がんばろう信州
One nagano 基金

事務局 特定非営利活動法人 長野県NPOセンター
☎ 080-5070-9917 お電話の受付は 月～金10:00～17:00
〒381-0034 長野県長野市大字高田1029-1 エンドウビル1F



🍏 現金の受け付けは下記事務局まで



農業ボランティア活動への支援について

農政部

1 農業ボランティアの活動状況について

- 果樹園に堆積したゴミや根周りの土砂撤去等を行うため、JA・県NPOセンターが主体となり「信州農業再生復興ボランティアプロジェクト」を立ち上げ、農業ボランティアの受け入れを実施
- プロジェクトの活動状況
 - 第1期 [8,500人参加 (11/18~12/17)]
堤内地の作業が概ね終了し、行政の災害復旧事業の本格化に併せ12月17日に終了
 - 第2期 [260人参加 (2/16)]
長沼地区の堤外地のごみの撤去等を2月16日に実施し、終了
- その他、重機ボランティア2団体が災害復旧事業と連携して、長野市・小布施町・中野市等で継続して活動中

2 今後の対応について

- 土砂の撤去については、国庫補助の災害復旧事業による早期撤去・営農再開ができるよう引き続き、事業主体である市町村を支援していく
- 農業ボランティアの活動については、建設業者の排土作業が進み、人力による土砂・ゴミの撤去等はほぼ終了しているが、一部地域で重機ボランティアの活動が継続していることから、県民文化部や健康福祉部とも連携し、ボランティア・NPO等への支援事業等により支援していく

<参考：信州農業再生復興ボランティアプロジェクトの活動状況>

- 第1期の活動状況

	長野市 (11/18~12/17)	中野市 (11/30~12/8)	小布施町 (11/23)	須坂市 (12/15)	計
参加人数	約 6,400 人	約 700 人	約 800 人	約 600 人	約 8,500 人
県からの 技術支援	87 人	25 人	18 人	9 人	139 人

- 第2期では、2月16日に長野市長沼地区の堤外地において約260人が参加